

# 第3 「うみ」と「みなと」

(港 湾 課)

# 第3 うみとみなと

## 1 海岸

### (1) 概要

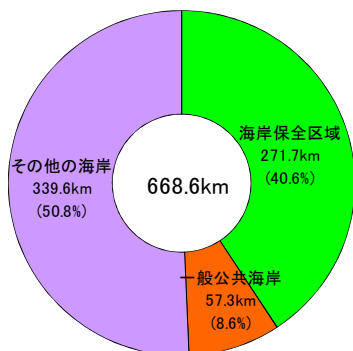
福岡県の海岸線延長は約669kmに及び、このうちの261kmと二線堤( )30kmを合わせた291kmを海岸保全区域に指定して海岸事業を行っています。この海岸保全区域は3省庁(国土交通省水管理・国土保全局、港湾局、農水省農村振興局、水産庁)所管に分かれています。県土整備部としてはこのうち国土交通省水管理・国土保全局及び港湾局所管(博多港及び北九州港の港湾区域を除く)と一般公共海岸区域を管理しています。

( )二線堤：埋立等により陸域に存する海岸保全区域の区域延長

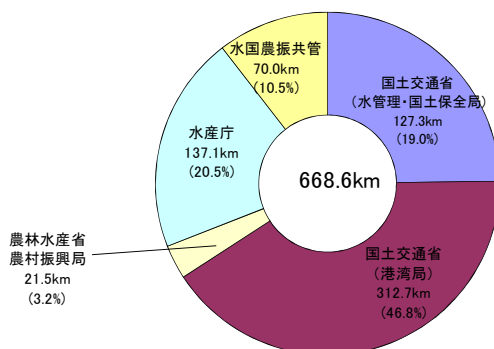
### 海岸線延長

- ・福岡県の海岸線は港湾や漁港等を含め約669km
- ・うち「海岸法」の対象となるのは海岸保全区域と一般公共海岸、延長は全体の49%程度
- ・海岸には様々な所管が存在する

海岸線延長



所管別海岸線延長



(注)二線堤の保全区域全長29.9kmは含まない

要保全延長10.9kmを含む

要保全延長・・・今後、保全区域に指定する海岸線

H27.3.31 現在

(海岸統計 H26 年度報告数値)



柳川海岸(柳川市)



新松原海岸(岡垣町)

## (2) 海岸の現況

### 玄界灘沿岸



- ・遠賀郡芦屋町から糸島市までの沿岸
- ・ほとんどが玄海国定公園に指定
- ・美しい景観が続く海岸線

### 豊前豊後沿岸



- ・北九州市若松区から大分県境までの沿岸
- ・施設の天端不足や老朽化が進んでいる
- ・老朽化対策による整備を進めている

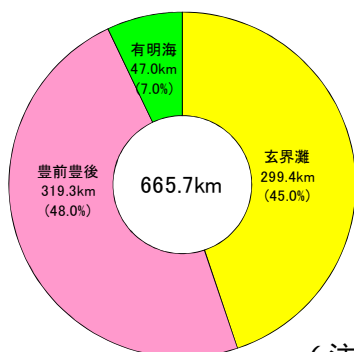


### 有明海沿岸



- ・筑後川河口から大牟田市に至る沿岸
- ・干満の潮位差が大きく軟弱土層の干潟が続く
- ・施設の天端不足や老朽化が進んでいる
- ・高潮対策による整備を進めている

沿岸別海岸線延長



(注) 河口部延長は含まない

沿岸区分は地形・海象面の類似性や沿岸漂砂（砂の移動）の連続性や都道府県境を考慮して定める

### (3) 海岸の事業概要

#### ア 高潮対策事業

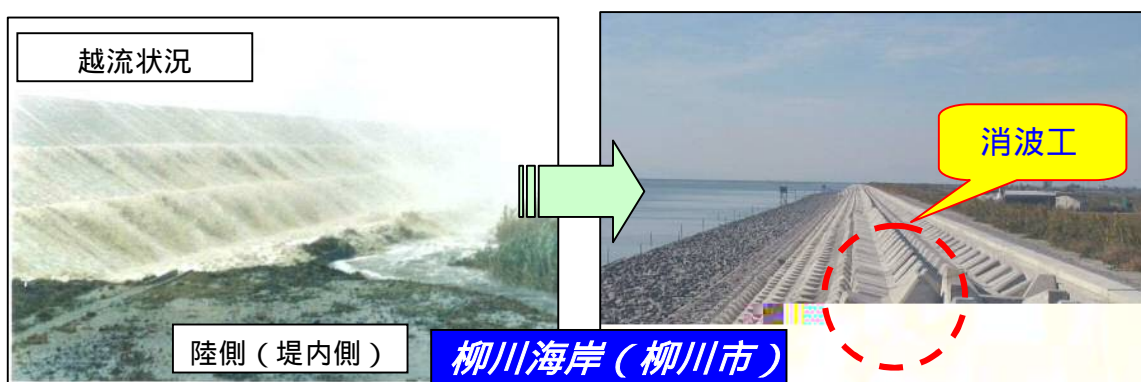
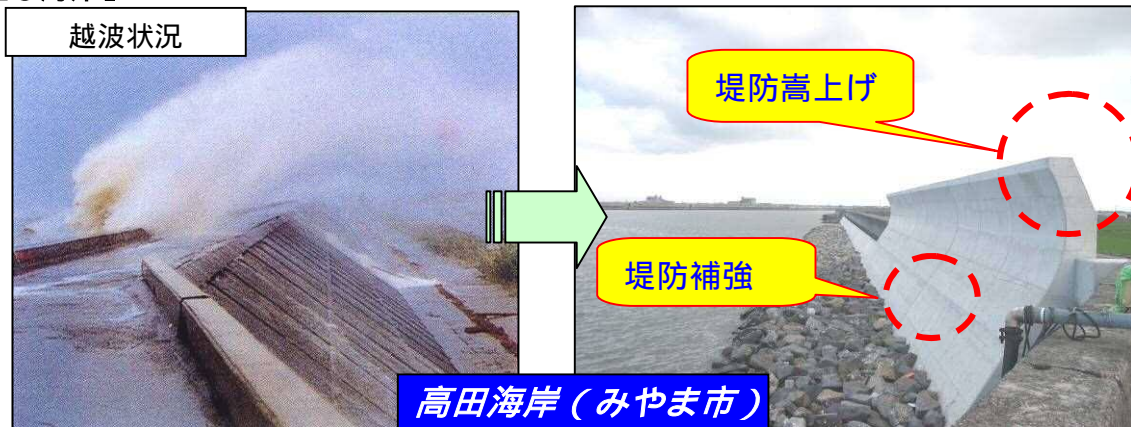
近年、1999年の台風18号や2004年の台風15、16、23号など、台風が大型化しており、また、海外でも2005年にハリケーン・カトリーナが壊滅的被害をもたらしました。福岡県は、台風の常襲地帯であり、特に有明海沿岸や豊前豊後沿岸は、湾口が南に面し高潮の発生しやすい地形となっています。また、背後地にはゼロメートル地帯(地盤高さが平均満潮位より低い土地)が広く存在し、人口や資産が集積しています。ゼロメートル地帯を防護している海岸堤防・護岸については、この被害を防止するために堤防や護岸の高上げや補強を行います。



気圧が1ヘクトパスカル低くなると、海面は約1センチメートル上昇します。



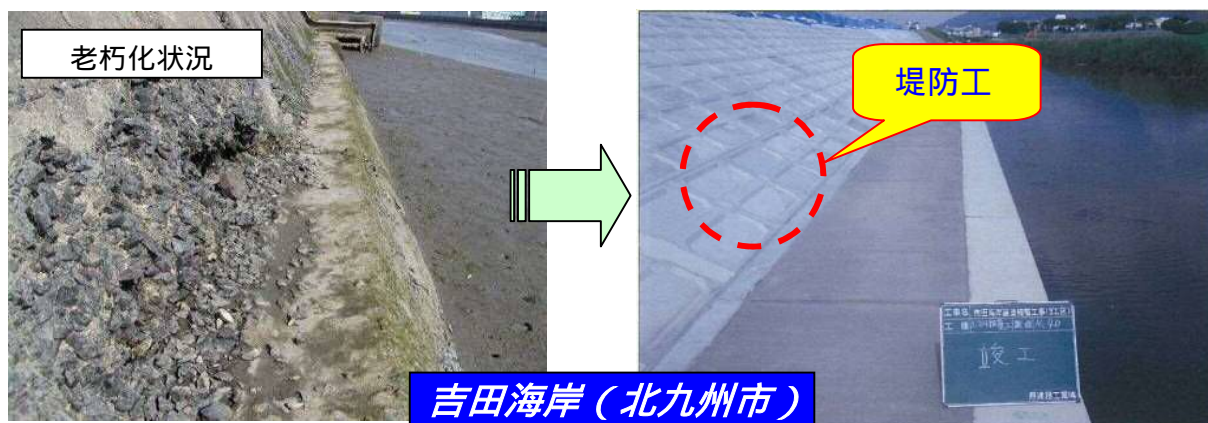
【主な海岸】



イ 海岸堤防等老朽化対策緊急事業

経年変化等の影響による損傷や機能低下が進行している既存施設の補修・改良を行います。

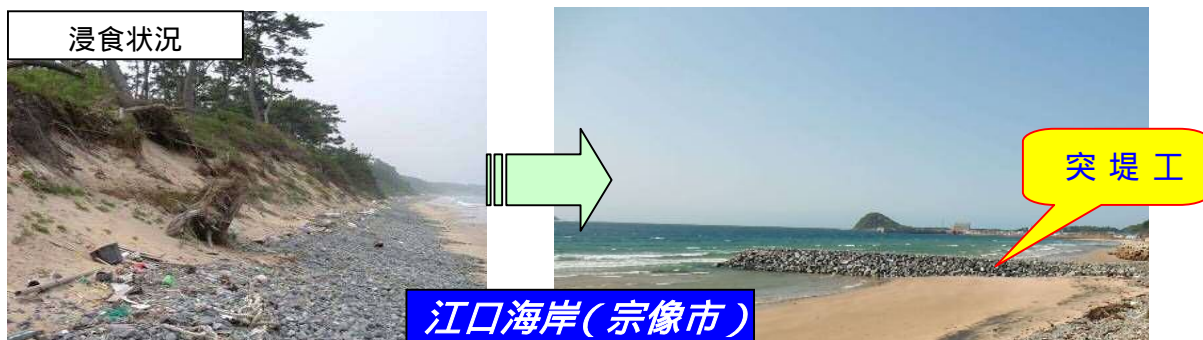
【主な海岸】



## ウ 海岸環境整備事業

海岸の自然環境を保全し、レクリエーションその他活動の場としての利用増進を図る事業です。この事業では、人工リーフ、緩傾斜護岸、砂浜等の整備を行います。

### 【主な海岸】

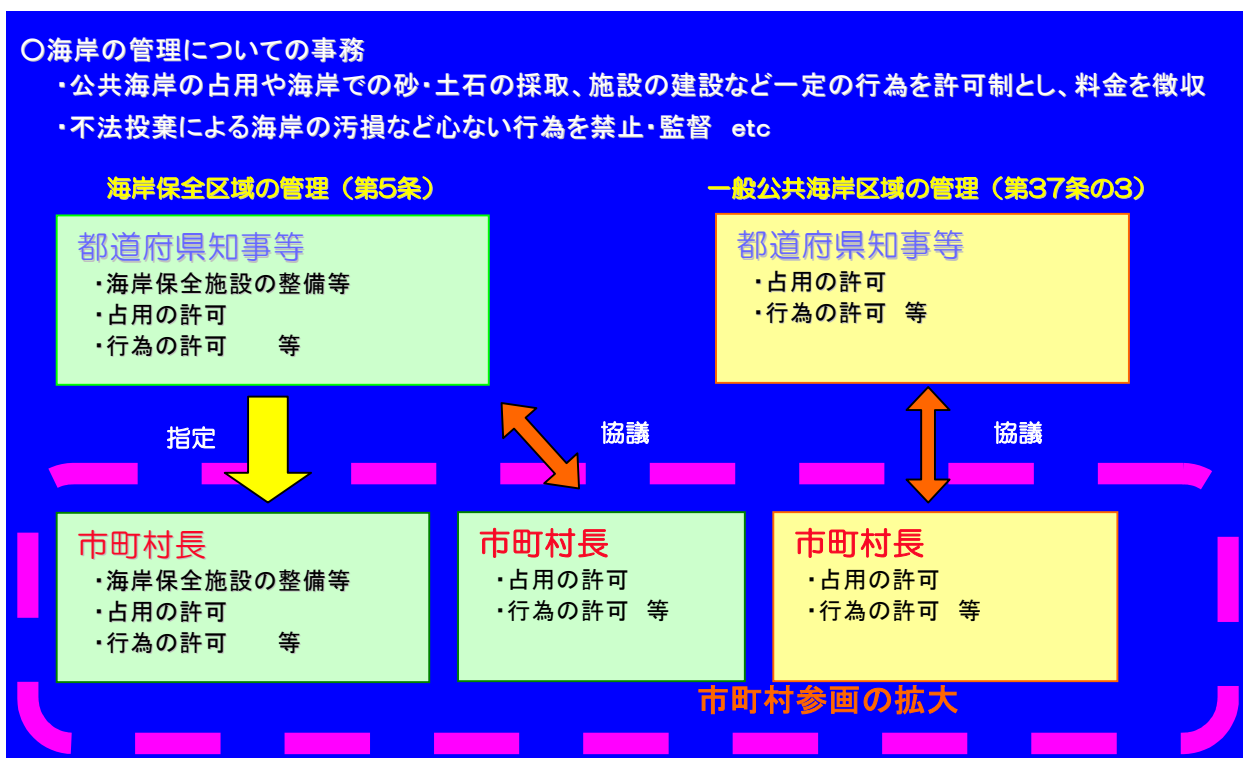


### (4) 海岸の管理

福岡県の海岸管理の主な業務は次のとおりです。

- ア 海岸保全区域の指定・廃止
- イ 海岸管理者以外の者が行う海岸保全施設に関する工事の承認
- ウ 公共海岸の占用等許可（一般公共海岸区域を含む）
- エ 海岸工事の施工

そのほか、海岸保全台帳の整備等の海岸管理運營業務を行っています。



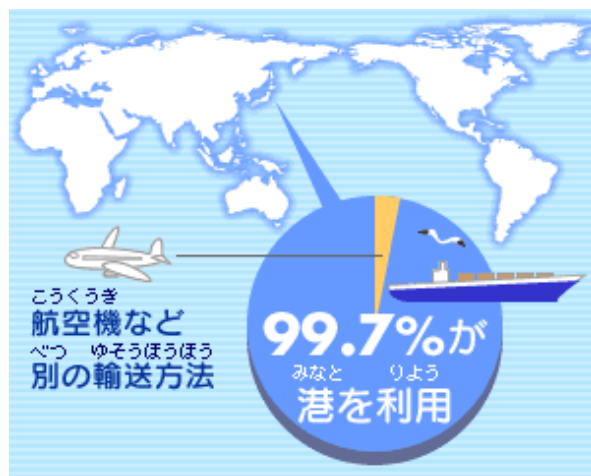
### (5) 砂利採取許認可業務

砂利採取法に基づく、一般海域等における土石採取計画の認可事務及び、福岡県一般海域管理条例に基づく、一般海域等における土砂採取の許可事務を行っています。

## 2 みなと

### (1) 港湾の役割

わが国は四方を海に囲まれ、加工貿易を中心として発展してきました。現在ではエネルギー・食料などの大部分を海外に依存しており、国内物流においても海運が重要な役割を担っています。近年の実績では、食料の6割、エネルギーの9割以上を海外に依存しています。また、航空貨物と比較して港湾を利用する海上貨物は日本の貿易量の99.7%、貿易額でも約7割のシェアを占めている状況です。



### (2) 福岡県の港湾

福岡県は、北西を玄界灘、響灘、南西を有明海、北東を周防灘に面しているという地理的条件から、古くより大陸との玄関口として栄え、今後はアジアに開かれた交流拠点として一層の発展が期待されています。

現在、国際拠点港湾の北九州港（北九州市管理）、博多港（福岡市管理）と重要港湾の苅田港、三池港、地方港湾5港（福岡県管理）があり、それぞれの港の地理的、歴史的な条件と背後圏の社会的、経済的な特性に応じた整備がなされ、地域の産業振興や広域交通体系拠点として重要な役割を果たしています。

#### ア 港湾の種類

港湾の種類は、港湾法や港湾法施行令にて規定されています。

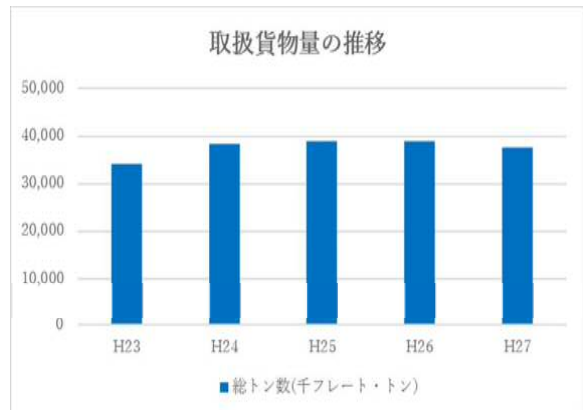
種 別	港 名	管 理 者
国際拠点港湾	北九州港、博多港	北九州市、福岡市
重要港湾	苅田港、三池港	福岡県
地方港湾	宇島港、大島港、大牟田港、 芦屋港、若津港	

国際拠点港湾：国際戦略港湾以外の港湾であって、国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾

重要港湾：国際戦略港湾及び国際拠点港湾以外の港湾であって、海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する港湾

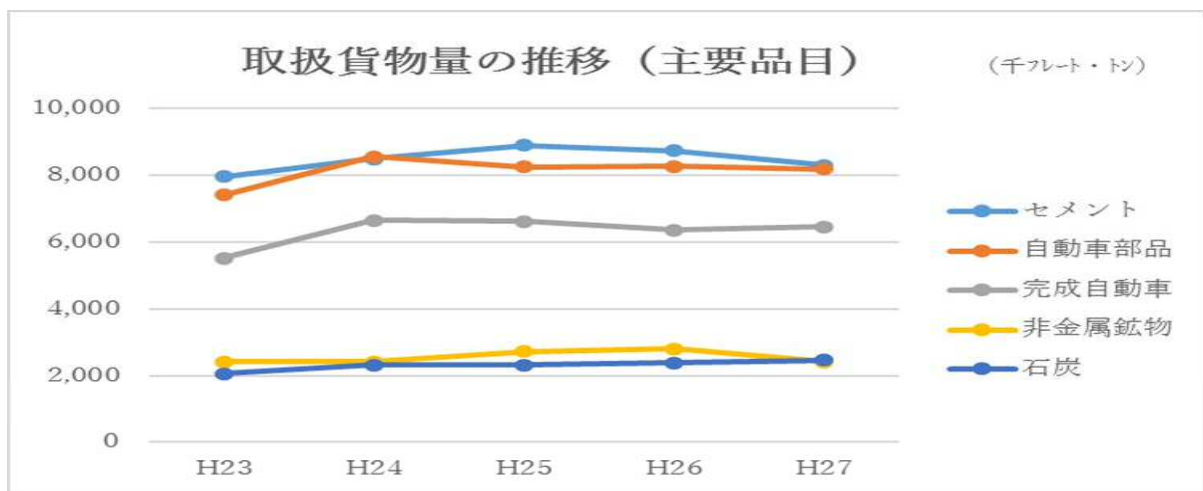
地方港湾：国際戦略港湾及び国際拠点港湾及び重要港湾以外の港湾

## イ 県管理港湾の利用状況



フレート・トン...運賃の算定基準となる貨物の重量又は容積の単位。

貨物の数量表示には、重量建と容積建がある。これは、重量のあるものは船舶の喫水に、かさ高のものは積載容量にそれぞれ制限を与えるので、二つの表示方法を併用しており、運賃清算のもとになっている。1フレート・トンは容積で1.133立方メートル(40立方フィート)、重量は1,000キログラムを1トンとし、容積と重量のうちいずれか大きい数値



### 平成27年 県管理港湾取扱貨物量

(フレート・トン)

港名	全体	外貿			内貿		
		小計	輸出	輸入	小計	移出	移入
合計	37,596,214	8,805,903	5,947,016	2,858,887	28,790,311	16,009,374	12,780,938
重要港湾	36,282,222	8,603,194	5,947,016	2,656,178	27,679,028	15,805,334	11,873,694
荻田港	34,246,274	7,570,200	5,823,521	1,746,679	26,676,074	15,710,568	10,965,506
三池港	2,035,948	1,032,994	123,495	909,499	1,002,954	94,766	908,188
地方港湾	1,313,992	202,709	0	202,709	1,111,283	204,040	907,244
宇島港	979,354	202,709	0	202,709	776,645	73,541	703,104
大島港	193,057	0	0	0	193,057	96,529	96,529
大牟田港	75,200	0	0	0	75,200	0	75,200
芦屋港	64,061	0	0	0	64,061	31,650	32,411
若津港	2,320	0	0	0	2,320	2,320	0



ウ 福岡県の港湾位置図

**大 島 港**



- ・昭和28年地方港湾指定
- ・平成23年『うみんぐ大島』がオープン
- ・主要貨物 フェリー貨物

**芦 屋 港**

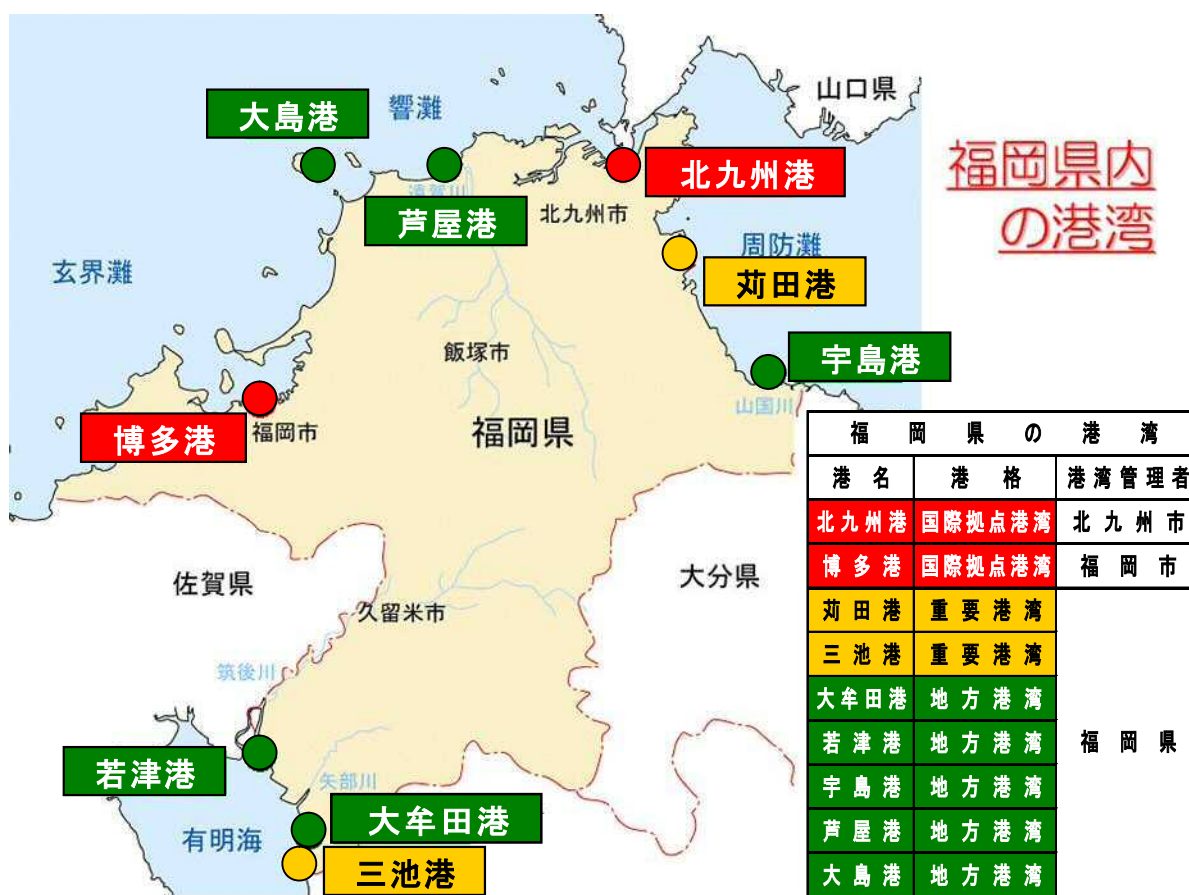


- ・昭和50年地方港湾指定
- ・平成14年『なみかけ大橋』開通
- ・主要取扱品 非金属鉱物、砂利・砂

**宇 島 港**



- ・昭和28年地方港湾指定
- ・九州電力の火力発電用貨物が増加
- ・主要取扱品 重油、原油



**若 津 港**



- ・昭和28年地方港湾指定
- ・主要貨物 重油、石油製品

**大 牟 田 港**



- ・昭和28年地方港湾指定
- ・主要貨物 砂利・砂、紙・パルプ

### (3) 県内重要港湾の現況

#### ア 苅田港

苅田港の背後地には、九州電力、三菱マテリアル、日産自動車九州等の企業が立地し、特にエンジンの生産・出荷をしている日産自動車九州は、北米・ヨーロッパを始め世界各国に輸出しており、国際貿易港として躍進を続けています。さらに、松山工業用地には平成17年にトヨタ自動車九州が進出し、隣接する新松山地区では船舶の大型化と内外貿易貨物の増大に対応した工業団地の造成を行っています。平成27年度から新松山工業用地（約40万㎡）の分譲を開始しております。

港の周辺には高速道路、港湾、空港が半径5 km圏内で利用可能となっており、陸・海・空の三拍子が揃った交通の結節点として、高いポテンシャルを有しています。

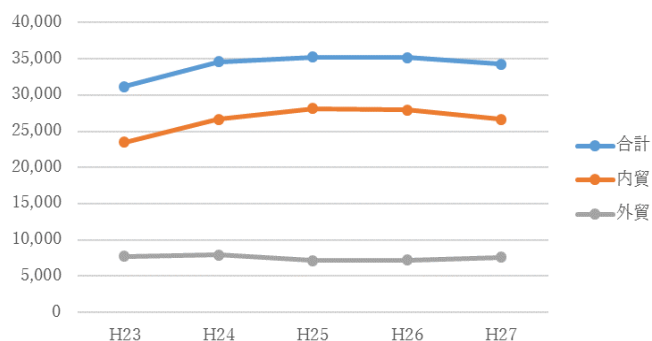


#### 港の利用状況

苅田港における品目別取扱貨物量割合  
(平成27年実績)

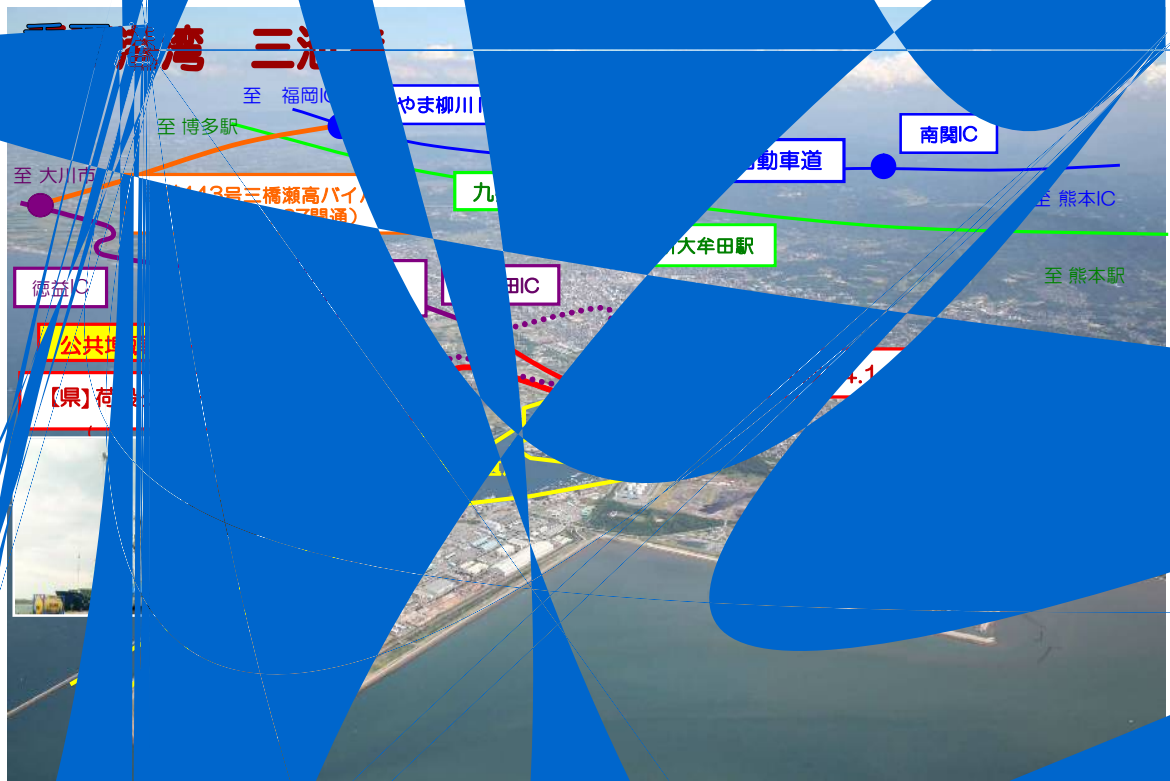


苅田港における取扱貨物量の推移 (千フルトン)



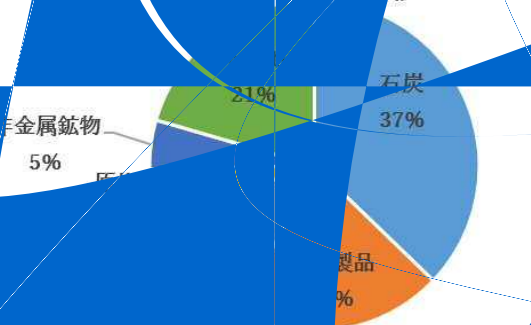


三池港は明治30年三井物産により整備に着手され、明治41年に開港しました。その後は三池港の種別として発展し、昭和26年に指定港湾に指定され、昭和46年に県港湾管理となる。平成10年5月から公共利用を開始しています。平成18年1月に釜石港との外貿コンテナ定期航路を開港しました。また、平成22年には公共利用の拡大に伴い、外貿コンテナ定期航路の増便により、外貿コンテナ定期航路を週2便と増便しました。平成25年4月に洋屋島後の開港により、更なるコンテナ貨物の増加が期待されます。また、明治41年開港当時の形のままの形で現在も稼動している点が高く評価され、平成27年に「産業革命遺産」の構成資産の1つとして世界文化遺産に登録されました。

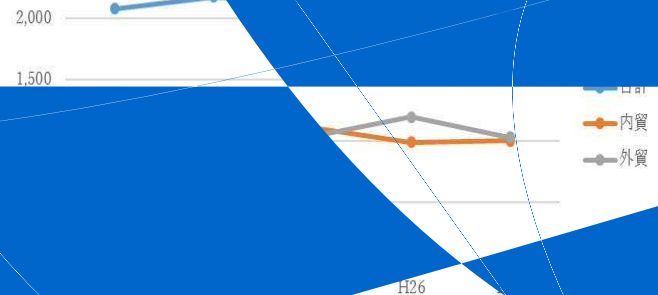


### 貨物の利用

三池港の貨物量割合 (単位: 千トン)



### 三池港における



#### (4) 港湾の整備計画

昨今の社会・経済環境は国際的な相互依存関係の深化と競争の激化、安全で安心できるくらしへの要求の強まりなど、大きな変化を遂げています。

このような内外の社会・経済環境の変化の中で、安定した県民生活と地域の活力を維持し、良好な生活環境の下で、安心して暮らせる地域社会を形成していくためには、港湾が経済基盤を支える根幹的な社会資本として、引き続きその役割を果たしていく必要があります。

現在は平成15年4月に施行の社会資本整備重点計画法等に基づき整備を行っています。

#### (5) 港湾の管理

##### ア 管理業務

港湾法、福岡県港湾施設管理条例等に基づき行う主な業務は次のとおりです。

維持管理	港湾施設の維持管理、港湾台帳の整備、港湾施設の認定申請 など
適正な運営	港湾施設の使用許可、港湾区域内等における占用許可 など
規制	港湾隣接地域の指定、臨港地区の指定、分区の指定 など

##### イ 港湾振興業務

###### ( ) 松山工業用地(京都郡苅田町)の処分

自動車関連企業等の誘致による雇用創出及び経済効果が期待される松山工業用地の分譲及びリースに関する業務 (㎡)

総面積	分譲	リース	分譲+リース 合計面積	未処分面積
645,757	620,643	25,114	645,757	0
			(100%)	(0%)

(平成28年3月31日現在)

###### ( ) 新松山工業用地(京都郡苅田町)の処分

自動車関連企業等の誘致による雇用創出及び経済効果が期待される新松山工業用地の分譲に関する業務 (㎡)

総面積	分譲	未処分面積
407,492	0	407,492
		(100%)

(平成28年3月31日現在)



### (iii) ポートセールス活動

三池港の利用促進を図るため、マイポートみいけ利用促進協議会（※）と一体となって、荷主企業、船社等に対する助成や港湾施設・周辺インフラ活用の利便性をPRするポートセールス活動（集荷、航路誘致）に取り組んでいます。

※マイポートみいけ利用促進協議会

三池港への集荷、航路誘致による利用促進を目的に、福岡県、大牟田市、九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所、三池貿易振興会、大牟田商工会議所、三池港物流株の6団体で構成する団体。

※ホームページ <http://www.miikeport.jp/>

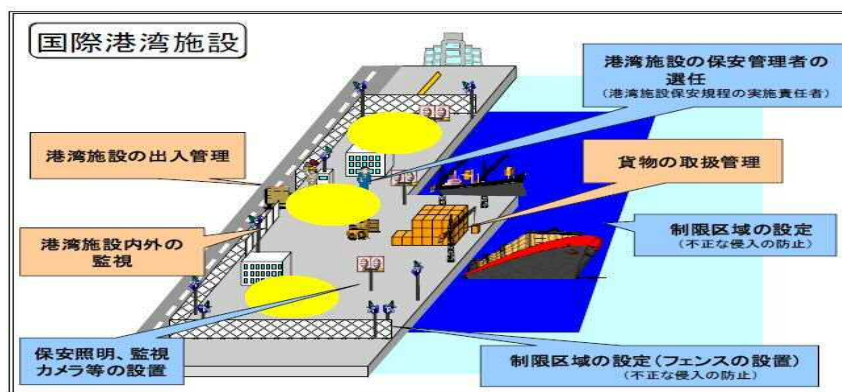


### (iv) 港湾サービス提供への取組み

苅田港及び三池港において、港湾EDIシステムの導入により、係船許可申請手続きの電子化を図っています。また、関門港及び周辺水域を航行する船舶に対し、国際海上VHF無線電話海岸局（ポトラジオ）から港湾関連情報の提供を行うほか、AIS装置（船舶自動識別装置）に対応する通信設備の整備を行っています。

## ウ 港湾保安対策等の業務

改正SOLAS条約（海上における人命の安全のための国際条約）の発効(H16.7.1)に伴い、「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」が制定され、県営港湾では、苅田港及び三池港において出入管理等の保安対策を実施しています。



## エ 公有水面埋立免許事務

公有水面埋立法に基づき県管理港湾の港湾区域及び一般海域における公有水面埋立ての免許事務を行っています。

## オ その他

1 港湾事業に関する漁業補償・争訴・港湾収支報告書の作成、公表

2 港湾統計調査

等の港湾の管理運営業務を行っています。

